

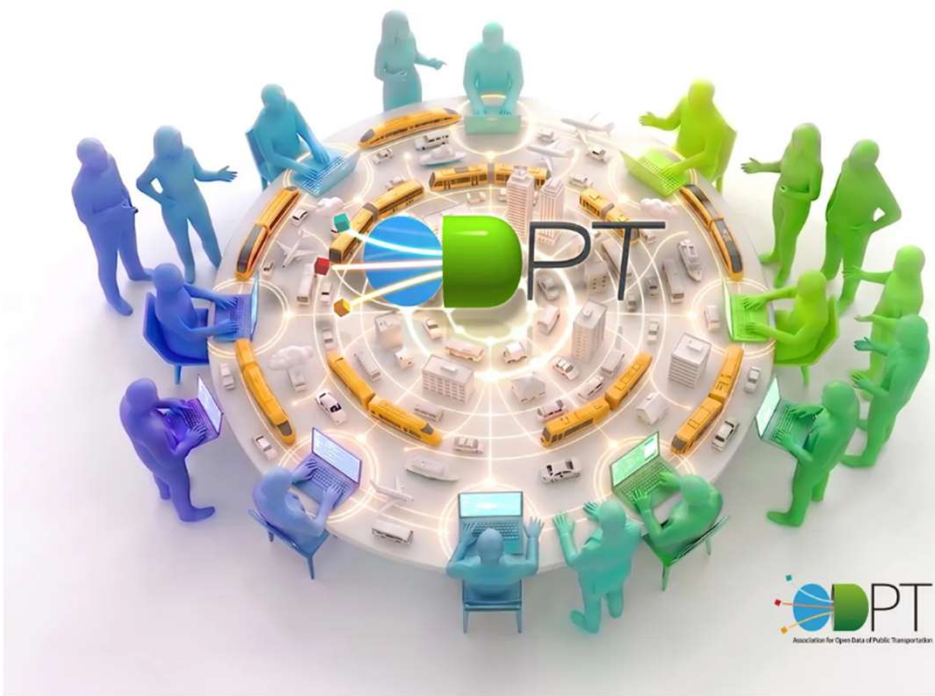
公共交通オープンデータチャレンジと 各種データ整備ツールの試行運用

令和8年8月27日
政策統括官付

- 今年度も引き続き、**ほこナビDP**の歩行空間ネットワークデータやバリアフリー施設等データも活用が推奨され、本施策の利活用促進に寄与

公共交通オープンデータから始まる イノベーションを

地域の可能性を広げる、新たなサービスをカタチに



公共交通オープンデータ チャレンジ2026



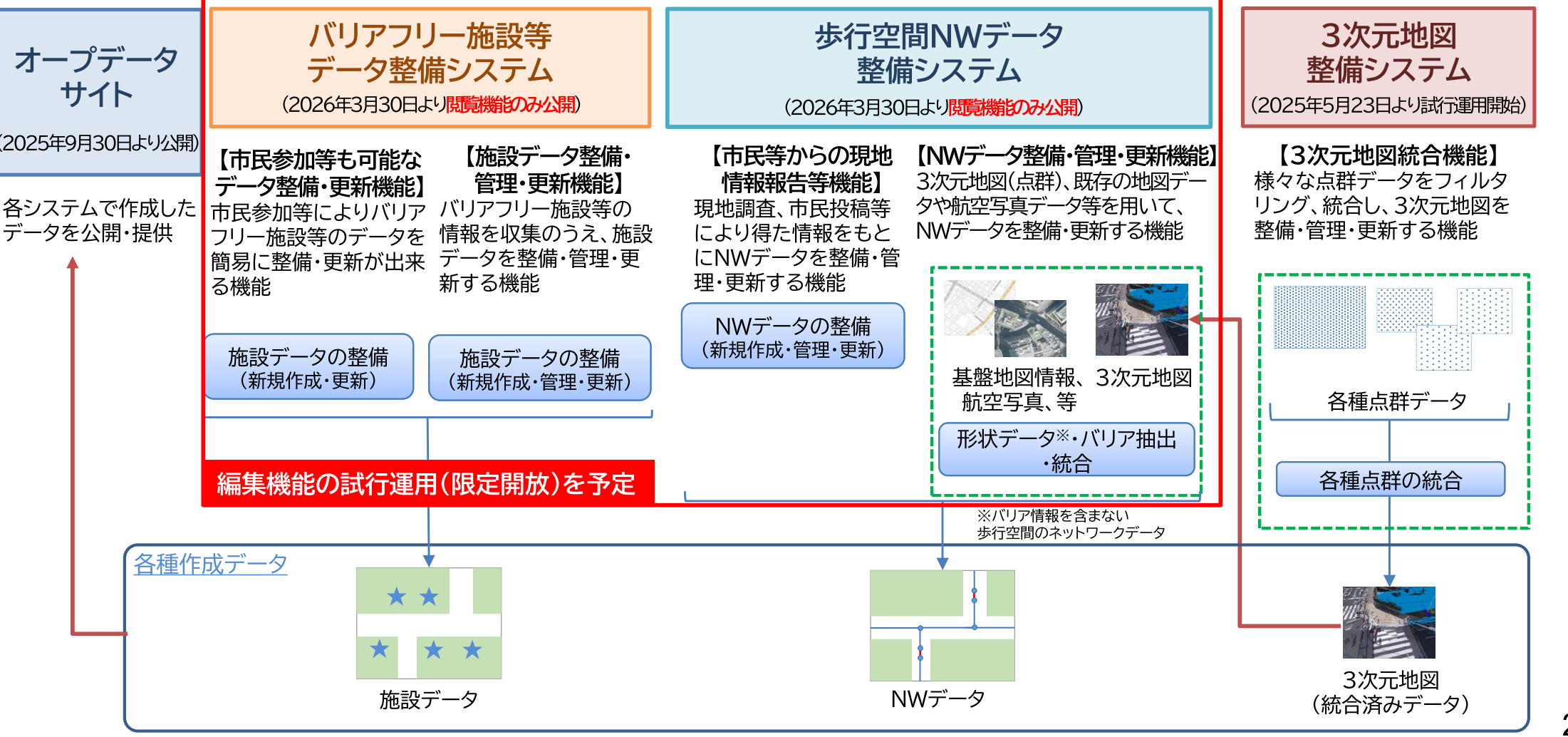
HP:<https://challenge2026.odpt.org/>

公共交通オープンデータ協議会と国土交通省主催のアプリケーションコンテストで、鉄道やバスなどの公共交通オープンデータや国土交通省が公開しているオープンデータ（ほこナビプロジェクト、Project LINKS、Project PLATEAU）等を活用した新たなアプリケーションやサービスを募集するものです。

各種データ整備ツール試行運用(限定開放)の開始



- 歩行空間ナビゲーションデータプラットフォーム(ほこナビDP)では、歩行空間の移動支援に資するデータを効率的に整備できるよう支援する3つのプロトタイプシステムを構築中。
- そのうち、「歩行空間NWデータ整備システム」、「バリアフリー施設等データ整備システム」の編集機能を希望団体に開放予定。
- 併せて、自治体向けの講習会と実地データ整備を実施し、データ整備の促進を図る。



3